



日本国内 自動車解体事業者様向け

---

# 高電圧 HV・ニッケル水素バッテリー 取外し・回収マニュアル

---

対応車種

車両型式

アクセラハイブリッド

DAA-BYEFP

マツダ株式会社

2024 年 1 月発行 (Ver.1.3)

本マニュアルの内容は予告なく変更していただく場合があります。

## 目 次

1. はじめに
2. アクセラハイブリッドの特徴
3. HVバッテリーの回収・リサイクルシステム概要
4. 高電圧作業 準備品一覧
5. 絶縁手袋 使用前点検
6. 高電圧作業上の諸注意
7. HVバッテリーの取扱いについて
8. HVバッテリー(強アルカリ性)液漏れ時の注意事項
9. HVバッテリー火災時の対応
10. HVバッテリーの引取りをお断りする場合の事例
11. HVバッテリーの取外し方法

●HV バッテリーの処理については、下記にお問合わせください。

マツダ株式会社

カスタマーサービスビジネス企画部 リサイクル推進グループ

E-mail : [Battery\\_Recycle@mazda.co.jp](mailto:Battery_Recycle@mazda.co.jp)



受付時間 : 9:00~17:00 (土日、GW、盆休み、年末・年始を除く)

# 1. はじめに



本マニュアルは、日本国内の自動車解体事業者様向けに作成したものです。  
本車両には、駆動用として高電圧のハイブリッド(HV)ニッケル水素バッテリー(以下HVバッテリー)が搭載されています。ニッケル水素電池を搭載した車両を廃車解体処理する場合には、安全確保のため、車種・型式を確認の上、必ず事前に本マニュアルをお読みいただき、安全な取外し作業を行っていただくと共に、バッテリーの回収にご協力いただきますよう、宜しく願いいたします。

安全に関してください表示について

本書で使用しているマークと意味は以下のようになっています。必ずお読みください。

 警告	取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性のあるもの
 注意	取扱いを誤った場合、傷害を負ったり車両の損傷につながる可能性のあるもの
参考	知っておいていただきたいこと 知っておくと便利なこと

## 使用済みHVバッテリーの安全な回収のために

 警告	<p>(1) 事故車、水没車などではHVバッテリーに変形、漏電、液漏れが発生している可能性がありますのでご注意ください。</p> <p>そのような車両からHVバッテリーを取外す際は感電、液漏れに対して必要な保護具を装備してくださいなど、安全確保のために十分ご注意ください。</p> <p>また、運搬についてもそのままの状態では運搬できません。</p> <p>(2) サービス・プラグを必ず引抜いてください。</p> <p>HVバッテリー取外し作業を行う前に、必ずサービス・プラグを引抜いてください。</p> <p>サービス・プラグを引抜かずに高電圧部位の解体、高電圧の配線(オレンジ色)およびそのコネクタの取外し、分解、切断などは生命にかかわるような重大な傷害を引起すおそれがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。</p>
 注意	<p>(1) 転売・譲渡・改造等をしないでください。</p> <p>HVバッテリーが適切に回収されずに第三者が高電圧部位等に触れた場合、感電事故などが発生していただきおそれがあり大変危険です。</p> <p>廃車より取外されたHVバッテリーは安全上の事故防止の為、速やかな回収を行っています。</p>

適切に回収されず、事故が起こる場合として、次のようなことが想定されます。  
適切に回収されず、不法投棄または放置され、第三者が高電圧部位に触れてしまい、感電事故が発生します。

- (2) 用途(専用のハイブリッド車)以外でHVバッテリーを使用(改造等を含む)し、感電事故、発熱・発煙・発火・爆発事故、アルカリ電解液漏出事故等が発生し、人体に重大な危害や周辺の物に損害を加える。特に、転売・譲渡等を行いますと、相手方でこれらの危険性が認識されず、事故につながり易くなります。

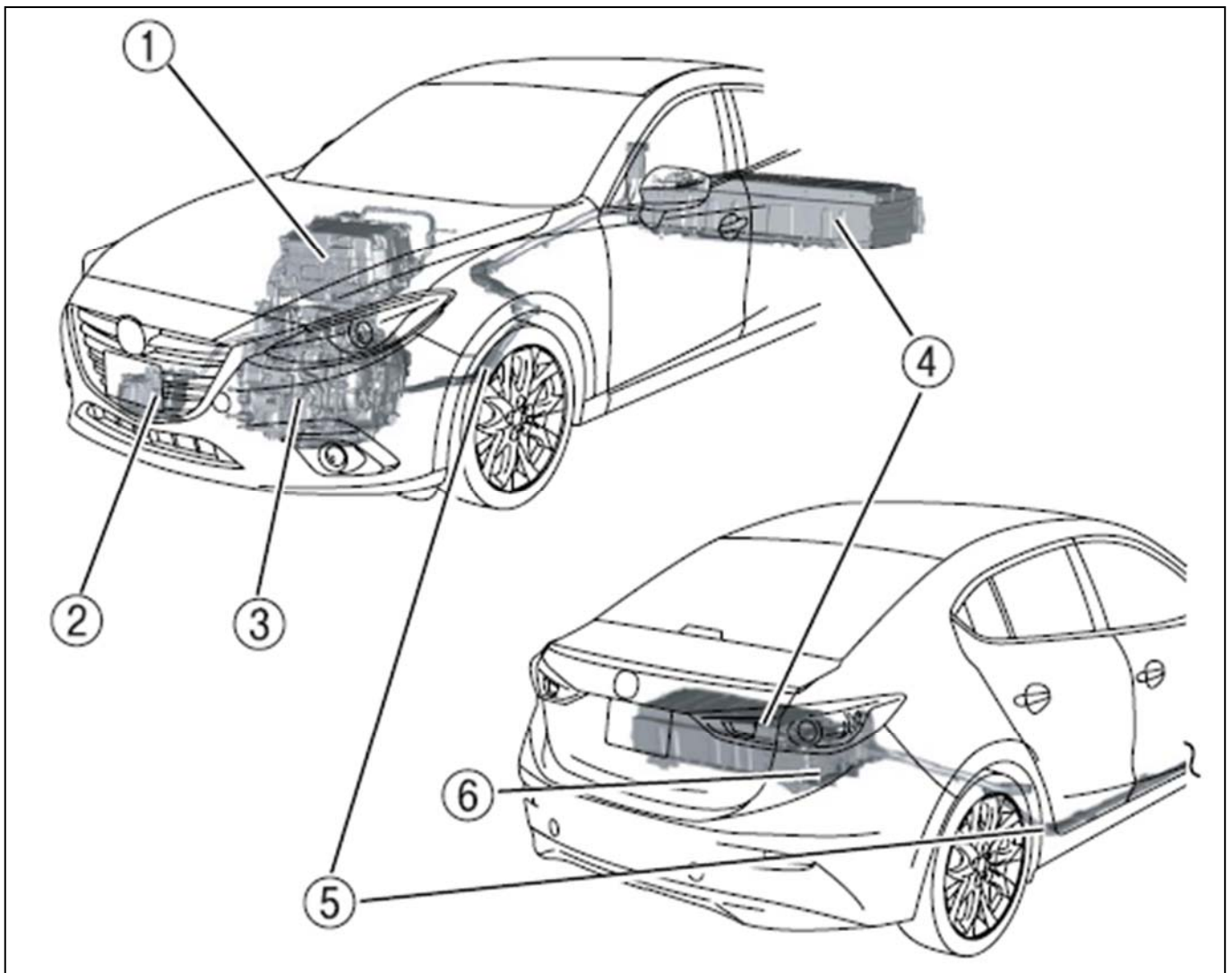
マツダ(株)では転売・譲渡等による専用車両以外へのHVバッテリー使用(改造等を含む)による事故・損害等については責任を負いかねます。

転売・譲渡等の結果、事故防止を目的とする使用環境の制限、使用条件の制限、設置据付条件の制限、使用前準備の制限、使用者の制限、予測される誤使用の禁止、保守・点検、異常時の処置等についての告知がされないことにより、その後の使用者等において危険性が認識されず、事故につながるおそれがありますので、転売・譲渡等を行わないでください。事故が起こった場合、転売・譲渡等を行った事業者等の責任が問われる可能性があります。

HVバッテリーの所有権は、解体事業者様が運搬業者に引渡した時点で、解体事業者様から移転してくださいものとします。

## 2. アクセラハイブリッドの特徴

当車両は、200V以上の高電圧システムを備えています。



### (1) 高電圧部品

高電圧部品は、以下のとおり配置されています。

番号	構成部品	配置	説明
①	パワー・コントロール・ユニット (昇圧コンバーター/ インバーター/ DC-DCコンバーター)	エンジンルーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• READY ON中は常にHVバッテリーの約200Vが印加されています。</li> <li>• 昇圧(約650V)/降圧(約12V)と直流/交流の変換を行います。</li> </ul>
②	電動コンプレッサー	エンジンルーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高電圧で作動してくださいエアコン専用のコンプレッサーで、エアコン冷媒を圧縮します。</li> </ul>
③	トランスアクしてください (モータージェネレーター)	エンジンルーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インバーターにより制御された電力を動力(回転力)に変換します。</li> </ul>

④	HVバッテリー	リヤシート後部 (トランクルーム内前方)	• 車両駆動用の電力を蓄え出力します。ニッケル水素電池を採用しています。
⑤	高電圧ハーネス	エンジンルーム 車両下部 リヤシート後部 (トランクルーム内前方)	• HVバッテリーと高電圧部品を接続するオレンジ色ハーネスで、各部へ高電圧を供給します。
⑥	サービス・プラグ	リヤシート後部 (トランクルーム内前方)	• 高電圧回路を、手動で機械的に遮断します。

## (2) 高電圧に対してください車両の安全対策

### 1)安全対策

高電圧に対し、以下の安全対策を施しています。


絶 縁	• 高電圧回路は、プラス/マイナス両極とも車体と絶縁しています。
接触防止	• 電圧電導部に直接触れられないよう、高電圧部位や高電圧ハーネスにはケース/カバーを設定しています。
等電位化	• 高電圧部品のケース/カバーと車体間を等電位化(電氣的に接続)してくださいことで、漏電発生時の感電対策を施しています。
識 別	• 高電圧部品には警告ラベルを貼付けし、高電圧ハーネスはオレンジ色の被服で統一しています。

### 2)高電圧システムの遮断

当車両は、ケガまたは事故に繋がる危険性を最小限にするため、以下の高電圧回路を遮断するシステムを備えています。

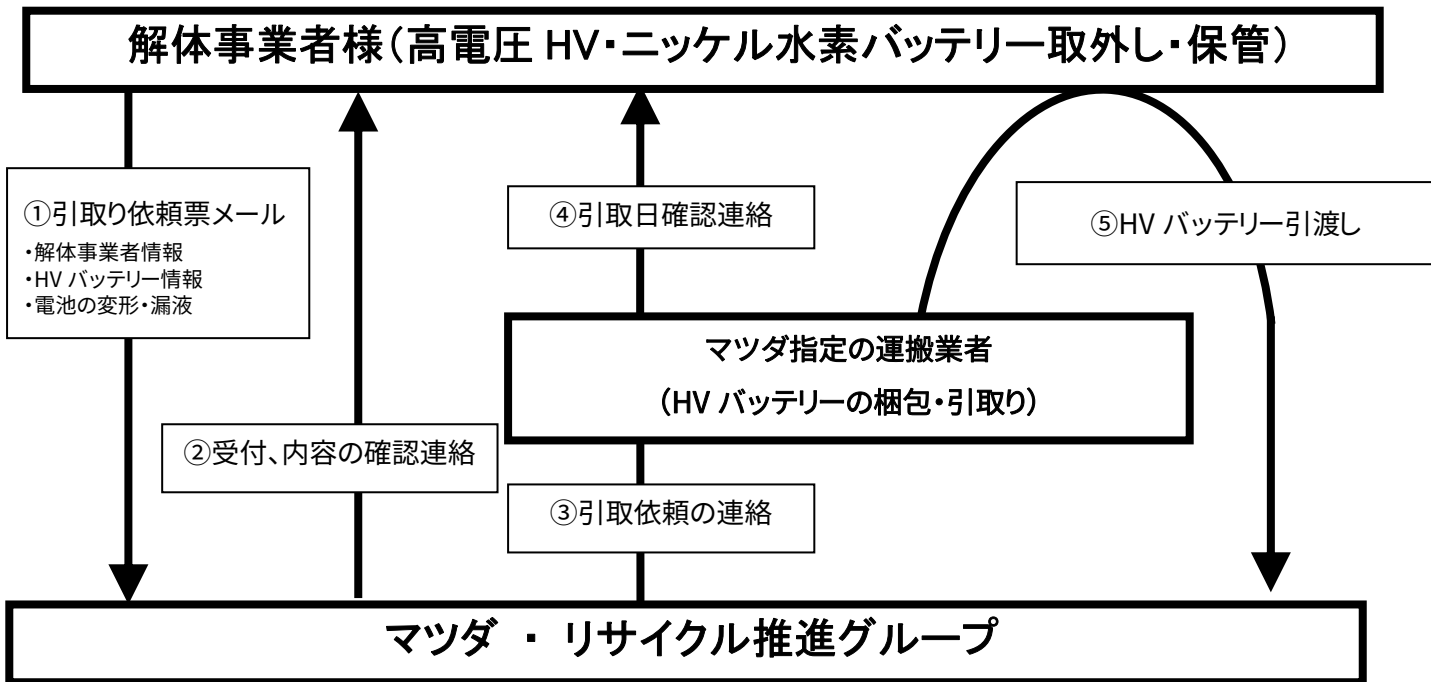
サービス・プラグ	• HVバッテリーの中間電位にあり、手動で引抜くことにより高電圧回路を遮断します。
システム・メイン・リレー	• HVバッテリーの入力部に位置し、自動的に高電圧回路の接続/遮断を行います。また、エア・バッグ展開時などの衝突時やシステム故障時も、自動的に高電圧回路を遮断します。

### (3) 高電圧ハーネスおよび機器の識別

 <b>警告</b>	• 高電圧機器およびハーネスは以下を行い、他の部位との識別を行っています。 絶縁手袋を装着していない状態で、高電圧遮断前の高電圧ハーネス/コネクターおよび高電圧警告ラベルが貼付けられている機器には、絶対に触れてはいけません。
---	---



### 3. HVバッテリーの回収・リサイクルシステム概要



(1) HVバッテリーは、上図の流れで引取られ、リサイクルされます。

(2) なお、HVバッテリーを搭載したまま車両のソフトプレス等を行うと、  
発火・発煙などの恐れがありますので、必ず取外しをお願いいたします。

- HVバッテリーの取外し・保管(P.9以降の「留意点・取外し方法」を必ずお読みください。)
- 『マツダ使用済ニッケル水素バッテリー引取り依頼票』に、必要事項をご記入ください。
- 同引取り依頼票をメールにてマツダ・リサイクル推進グループへ送付ください。
- マツダ・リサイクル推進グループから受付完了、内容の確認等の連絡をいたします。
- 後日、運搬業者が伺いましたら、メールにて送付された同引取り依頼票を運搬業者に提示し、照合・確認してもらってください。

**HVバッテリー取外し手数料:2,500円/個 (消費税別途)**

**※金額は予告なく変更していただく場合がありますので、ご了承ください。**

**※マツダ販売店は対象外です。**

- 引渡先に関する注意  
解体事業者様が、マツダ・リサイクル推進グループに連絡することなく、独自に運搬業者に引渡した場合は、すべての必要費用は解体事業者様のご負担となりますので、ご注意ください。
- HVバッテリーの所有権  
HVバッテリーの所有権は、解体事業者様が運搬業者に引渡した時点で、解体事業者様から移転するものとします。
- HVバッテリーの梱包方法
  - HVバッテリー内部に水、異物等が入らないように、送風口周辺(コンピュータ等)をビニールシート、ガムテープ等でカバーしてください。
  - 「サービス・プラグ取外し済」とガムテープに明記し、回収事業者が確認できるようにしてください。
  - 段ボールに入れる若しくは段ボールで覆って不要パレットにしっかりと固定してください。




## 4. 高電圧作業 準備品一覧

当車両の高電圧作業を行う際には、以下の準備品を用意してください。

### 準備品一覧

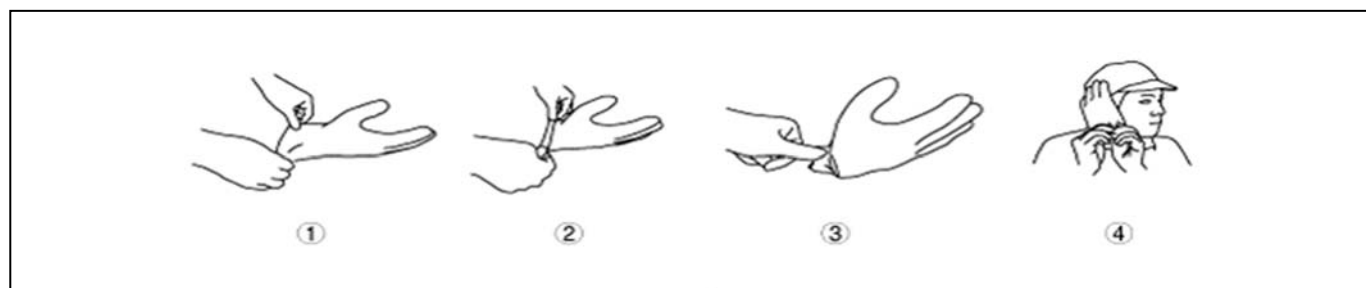
準備品	用途
保護具 (絶縁手袋、安全靴、保護ゴム手袋、保護メガネ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業者の感電事故を防止します。</li> <li>HV バッテリー電解液が漏れている際に皮膚や目を保護します。</li> </ul>
絶縁テープ	<ul style="list-style-type: none"> <li>破損したハーネスまたは取外した 12V バッテリー端子の絶縁処理に使用します。</li> <li>ハーネス等の絶縁処理に使用します。</li> </ul>
リトマス試験紙 (赤) (薬局等で購入可能)	<ul style="list-style-type: none"> <li>漏れている液体のpH確認のために使用します。</li> </ul>
飽和ホウ酸水 20L (薬局で粉末のホウ酸 800g を購入し、容器に入れ 20L の水で溶かす)	<ul style="list-style-type: none"> <li>漏れている HV バッテリー電解液(強アルカリ性)の中和に使用します。</li> </ul>
吸着マット、ウエス	<ul style="list-style-type: none"> <li>油脂類、HV バッテリー電解液を吸着します。</li> </ul>
消火器 (ABC消火器)	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災の初期消火に使用します。</li> </ul>

## 5. 絶縁手袋 使用前点検

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高電圧作業を行う際に異常がある絶縁手袋を使用すると、感電し重大災害を引起すおそれがあります。 絶縁手袋使用時には使用前点検を行い、異常がないことを確認してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶縁手袋の使用前点検では息を吹き込んでの点検は行わないでください。 絶縁手袋内の湿潤が原因で感電し重大災害を引起すおそれがあります。</li> </ul>


- 作業者本人が、使用する保護具および工具の老朽や破損状態について、使用前点検を行ってください。
- 絶縁手袋は、必ず使用前に次の方法で、傷、穴、破れ、ひび割れなどの損傷が無いことを確認してください。また、湿潤した絶縁手袋は使用しないでください。
  - 絶縁手袋全周に傷がないことを目視により確認してください。
  - 絶縁手袋の袖口を広げ、空気を入れます。(図①)
  - 空気が漏れないように手首のあたりまで袖口を巻込んでください。(図②)
  - 袖口を折りたたみ密閉してください。(図③)
  - 空気の漏れがないか手袋を耳にあて確認してください。(図④)

<b>参考</b>	絶縁手袋に穴および破れがあります場合、「シュー」音がします。
-----------	--------------------------------



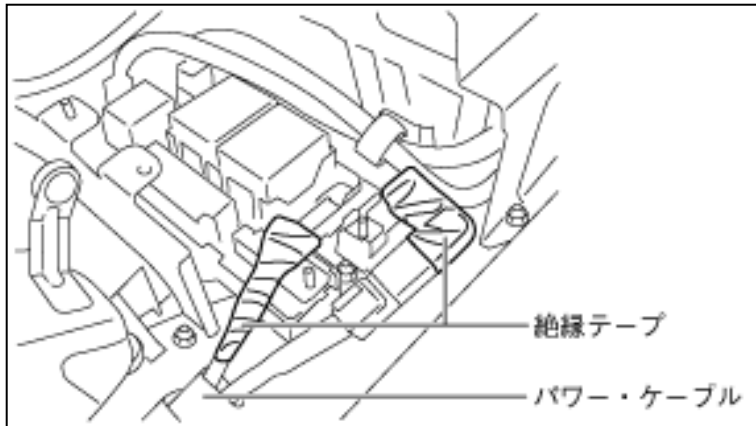
## 6. 高電圧作業上の諸注意

### (1) 高電圧部位(部品)に関してください注意事項

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当車両が有する高電圧部品の取外し作業は、労働安全衛生法が定める危険業務に該当します。そのため、高電圧部品の取外し作業は低圧電気取扱特別教育を受講した作業者が行ってください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高電圧部品の取外し作業は、絶縁手袋を着用して行ってください。絶縁手袋を着用せずに高電圧部品に触れると、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高電圧部品の取外し作業は、サービス・プラグを取外して 10 分経過した後に開始してください。サービス・プラグを取外さずに作業したり、サービス・プラグを取外して 10 分経過しないうちに作業したりすると、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス・プラグの取外しは、高電圧部品を取外す作業者が行う。取外したサービス・プラグは、高電圧部品の取外しが終わるまで作業者がポケットに入れる等して携帯し、他の作業者が誤ってサービス・プラグを取付けることがないようにしてください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高電圧部品の取外し作業中にタイヤを回転させない。タイヤが回転すると発電が行われるため、サービス・プラグを取外していても、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高電圧部品を取外す際は、車両に"高電圧作業表示"を設置し、他の作業者に注意喚起してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペースメーカー等、電子医療機器を装着している方は絶対に作業を行わない。また、キャッシュカード、プリペイドカード等、磁力の影響を受け故障するおそれのある磁気記録媒体を身に着けて作業を行わない。当車両には強力な磁石が用いられている部品があり、電子機器に大きな影響を与えるおそれがあります。作業時は十分注意してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高電圧回路のケーブル類(オレンジ色)や高電圧に関わる部品(高電圧警告ラベルが貼り付けられている機器)には不用意に触らない。感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>取外した HV バッテリーは、雨水に濡れないよう車両に搭載されていた姿勢で保管してください。サービス・プラグを抜いた後は再取り付けしないでください。水がかかるとショートによる発熱が原因で火災が発生する危険性があります。</li> </ul>

## (2) 高電圧コネクタおよび端子の絶縁処理

- 絶縁被覆のない高電圧端子に触れる場合は、絶縁手袋を着用し、事前にテスターで電圧が0Vであることを確認します。
- 切離した高電圧コネクタは、端子が露出しないようにコネクタ切離し後、ただちに絶縁テープで保護します。



## (3) 作業中の携行禁止品

- 当車両は高電圧部位があるため、金属製のスケール、シャープペンシル、ネックレスなどのアクセサリーが作業時に高電圧部位へ落下した際に短絡し、アークの飛散、部品の損傷につながります。  
作業前に金属製品は取外します。
- 当車両は、強力な磁力を持つ部品が使用されており、高電圧作業を行う際に磁気記録媒体(キャッシュカード、プリペイドカードなど)を携行していると、記録データを破壊するおそれがあります。高電圧作業時は、磁気記録媒体を身に付けしないでください。

## (3) 高電圧作業中の標示板

- 高電圧作業時は、“高電圧作業中”であることを周囲の人に注意喚起するため、「高電圧作業中 触るな!」の標示を行ってください。(次頁をコピーしてご活用ください)

のりしろ

----- 山折り -----

\_\_\_\_\_

担当

高電圧作業中  
触るな！！

\_\_\_\_\_


山折り

----- 山折り -----


のりしろ

## 7. HV バッテリーの取扱いについて


### (1) HV バッテリー取外し時の注意事項


 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済みとなった車のHVバッテリーは基本的に充電状態にあり、HVバッテリー本体が破損した場合、スパークや発火、液漏れ事故の原因となるため、ニブラ(自動車解体機)や重機など、HVバッテリー本体を破損させるおそれのある方法で取出すことは絶対にしないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高電圧ケーブル類(オレンジ色)は、絶対に切断しない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーを破損させるような衝撃を与えない。 (車載のままプレス・フォークリフト等による突き刺し・高所からの落下等)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源を用いてHVバッテリーを充電／放電しない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーを45°以上傾けない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーの端子部は、絶縁手袋を着用し、絶縁テープを貼り絶縁してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本マニュアルの取外し方法に記載した事項以外のHVバッテリーの分解は絶対にしないでください。</li> </ul>

### (2) HVバッテリー保管時の注意事項

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーの端子部は、絶縁手袋を着用し、絶縁テープを貼り絶縁してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーを火に近づけたり、加熱しないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーを水がかかる場所に放置しないでください。 水がかるとショートによる発熱が原因で火災が発生する危険性があります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>車載状態と同じ向きで保管してください。(45°以上傾けたり、縦に置いたりしない)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーは40°C以下の環境で保管してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーの保管期間は3か月を目安としてください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーを金属など導電性のあります面上に保管しない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーを密閉容器に入れない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリー下面には、絶縁素材(ゴムなど)のマットなどを敷く。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>HVバッテリーの上に物を置かない。</li> </ul>	

## 8. HV バッテリー(強アルカリ性)液漏れ時の注意事項


 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HVバッテリーの電解液は強アルカリ性のため、電解液が漏れている場合は、素手で触れないでください。漏れた電解液は飽和ホウ酸水(薬局で粉末のホウ酸800gを購入し、容器に入れ20Lの水で溶かす)で中和したのち、保護メガネ、保護ゴム手袋を着用してウエス等で拭取ってください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電解液が直接皮膚に触れた場合、直ちに飽和ホウ酸水または多量の流水でよく洗い流してください。電解液がかかった衣服はすぐに脱いでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電解液に触れたり目に入ったりした場合は多量の流水でよく洗流し、速やかに医師の診断を受けてください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 万一、電解液を吸入した場合は、直ちに被災者を毛布等に包んで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診断を受けてください。呼吸困難または呼吸が停止しているときは人工呼吸を行ってください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 万一、電解液を飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、多量の水を飲ませて電解液を薄めて、速やかに医師の診断を受けてください。</li> </ul>

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電解液漏出時に使用した吸着マット、ウエスの廃棄は、都道府県知事時の許可を受けた専門の産廃業者に委託してください。</li> </ul>
---	--

<b>参考</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 車両周辺に液漏れがあります場合、リトマス試験紙により pH を確認してください。リトマス試験紙(赤色)が青色に変わった場合、漏れている液体はニッケル水素バッテリー電解液の可能性があるため、飽和ホウ酸水で中和し、保護メガネ、保護ゴム手袋を着用し、ウエスなどで拭き取ってください。</li> </ul>
-----------	--

## 9. HV バッテリー火災時の対応

- 車両火災が発生している場合は、直ちに消防署へ通報し、可能であれば初期消火を実施してください。
- 車両を離れる場合には、消火作業に当たる人に、当車両がハイブリッド車(高電圧を有する車両)であることを伝え、注意喚起してください。

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 火災時に消火器を使用する場合は、ABC消火器を使用してください。普通火災、油火災(ガソリン、石油などによる火災)、電気火災(電気配線、電気機器などによる火災)に有効な消火器</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 火災時に水で消火する場合、消火栓などから大量の放水が可能となるときのみ行ってください。少量の水での消火作業は危険なため、消火は行わず安全な場所に避難し、消防隊の到着を待ってください。</li> </ul>


## 10.HV バッテリーの引取りをお断りする場合の事例

HV バッテリーは高電圧を伴う自動車部品のため、本マニュアルに従った適切な取扱いが必要です。本マニュアルに従わず、HV バッテリーを分解したもの、あるいはニブラや重機等を使用して取外す等、不適切な取扱いによって損傷等を生じた HV バッテリーは非常に危険な状態となり、回収時等の事故発生の原因にもなりますのでお引取りできません。マツダ(株)が国土交通省に届出をした部品(HV バッテリー)以外は、マツダ(株)ではお引取りいたしませんので、予めご承知おきください。その他特別な対応が必要と思われる状態の HV バッテリーの取扱いにつきましては、個別にご相談ください。

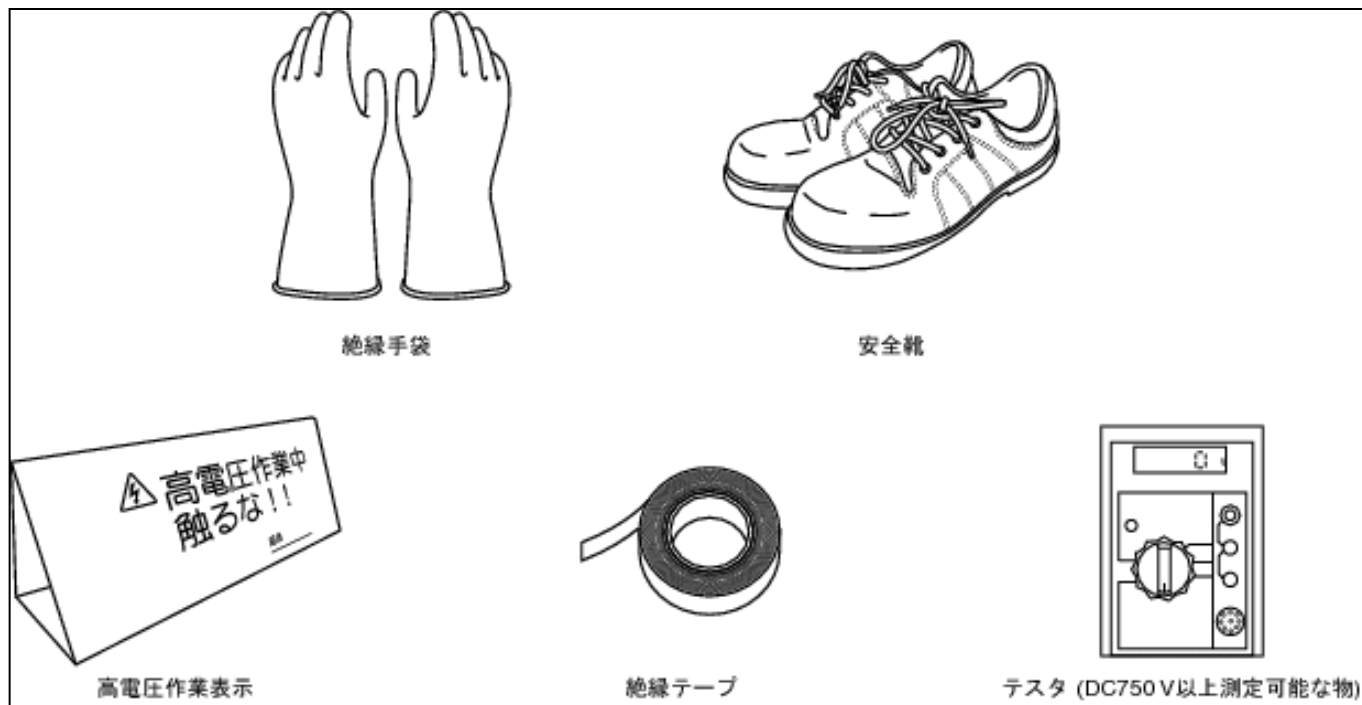
### お引取りできない事例

- (1) サービス・プラグを取外していないもの
- (2) 高電圧回路のケーブル類(オレンジ色)を切断したもの
- (3) ニブラや重機等を用いてHVバッテリーを取外したもの
- (4) HVバッテリーが破損・変形したもの
- (5) HVバッテリーケースを取外したもの
- (6) 屋外に長期間放置されて損傷が激しいもの

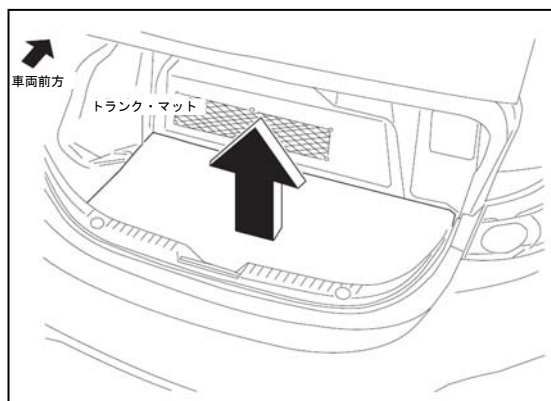
## 11.HV バッテリーの取外し

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• HV バッテリー取外し作業を行う前に必要な処置を怠ると感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがあります。HV バッテリー取外し作業を行う前には、「7.HV バッテリーの取扱いについて」を参照し、必要な処置を講じてから作業を開始してください。</li></ul>
---	---

### 準備品一覧

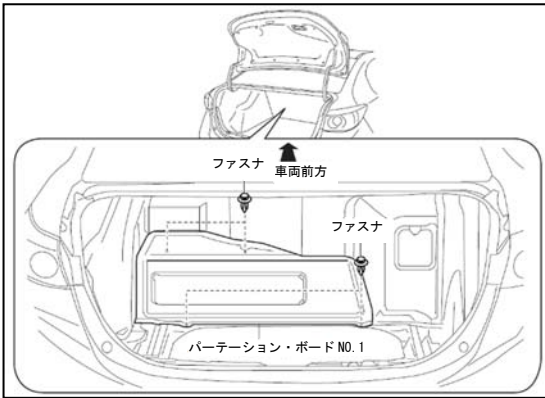


- (1) コンビネーション・メータ内の READY インジケータが点灯していないことを確認する。
  - READY インジケータが点灯している場合は、電源ポジションを OFF にしてください。

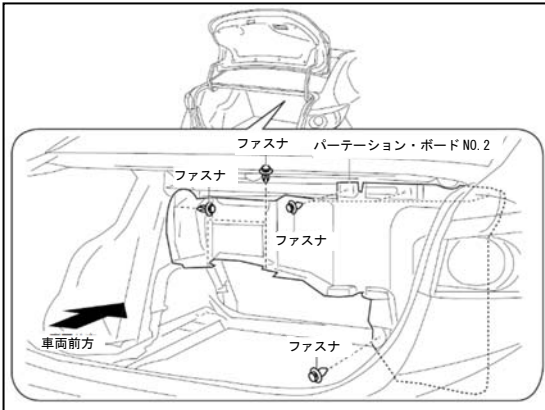


- (2) トランク・マットを取外す。






(3) パーテーション・ボード No.1 を取外す。



(4) パーテーション・ボード No.2 を取外す。

(5) 12V バッテリー(-)ケーブルを切離す。

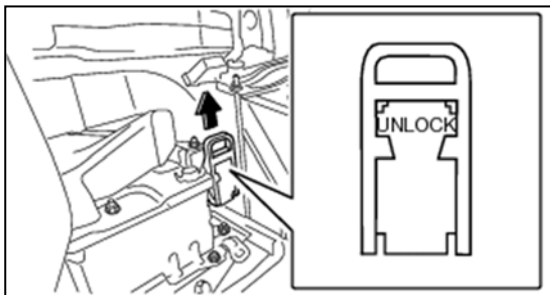
(6) 絶縁手袋を着用し、以下の手順でサービス・プラグを取外す。

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両側端子部に触れると、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがあります。そのため、サービス・プラグを取外した後は、車両側端子部を絶縁テープで覆い隠し、車両側端子部に触れることができないようにしておいてください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス・プラグを取外してから 10 分間は、高電圧部品に触れないでください。サービス・プラグ取外し後 10 分間はコンデンサに電荷が蓄えられており、その間に高電圧部品に触れると感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至るおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス・プラグは、高電圧部品を点検／脱着する作業者が取外す。取外したサービス・プラグは、高電圧部品の点検／脱着が終わるまで携帯し、他の作業者が誤ってサービス・プラグを取付けることがないようにしてください。</li> </ul>



**注意**

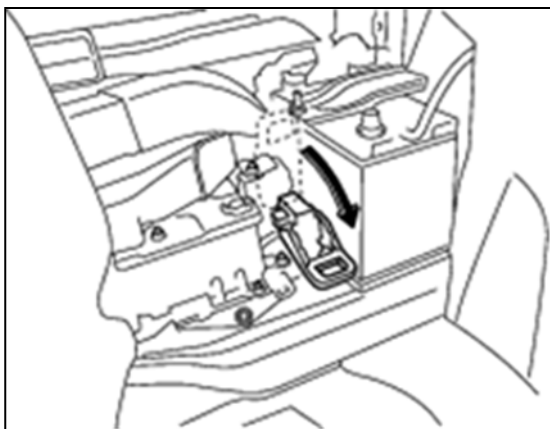
- サービス・プラグを携帯する場合は、サービス・プラグ端子部の破損を防ぐために、サービス・プラグ端子側を絶縁テープで覆ってください。



1)「カチッ」と音がするまで、レバーを上方に引上げる。

**参考**

- このとき、サービス・プラグ部に「UNLOCK」が表示されます。

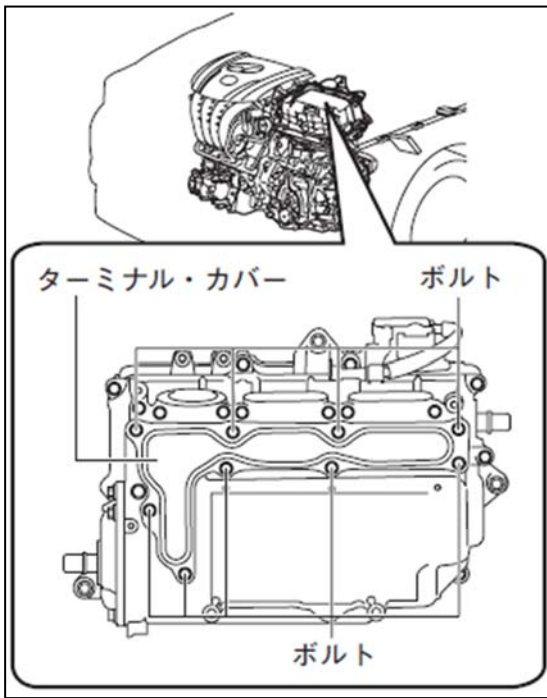


2)レバーを手前に倒す。



3)サービス・プラグを手前に引抜く。

(7) サービス・プラグ取り外し後、10 分間放置する。



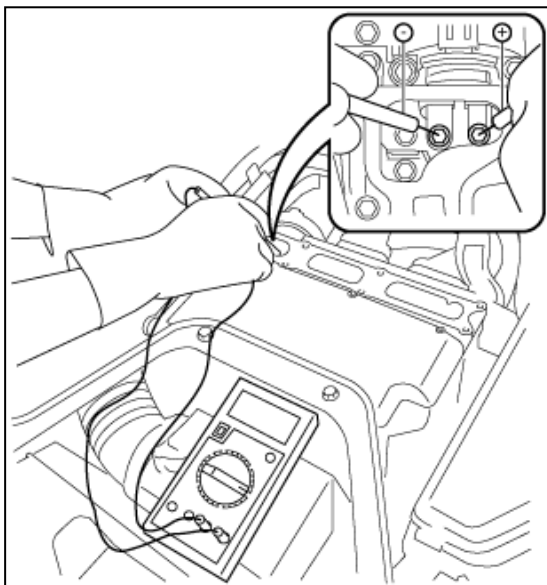
(8) 絶縁手袋を着用し、以下の手順でパワー・ケーブル接続部(PCU 側)の電圧を測定する。

1) 図に示すボルトを取外す。

2) ターミナル・カバーを取外す。

3) パワー・ケーブル接続箇所の電圧を測定する。

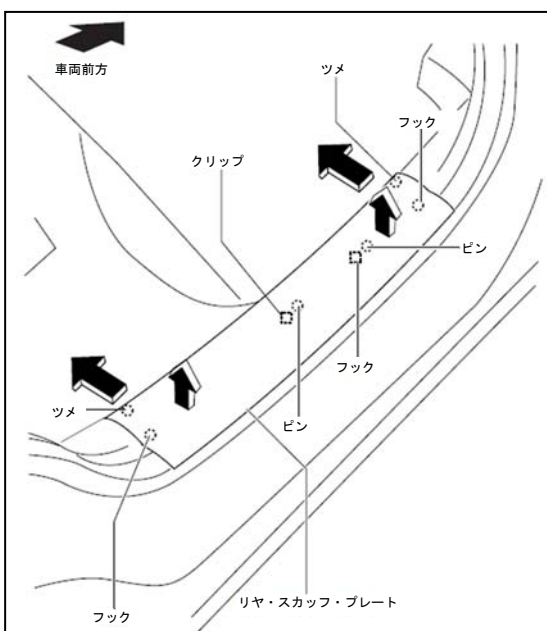
・テスターが 0V を示していることを確認する。



4) ターミナル・カバーを取付ける。

**参考**

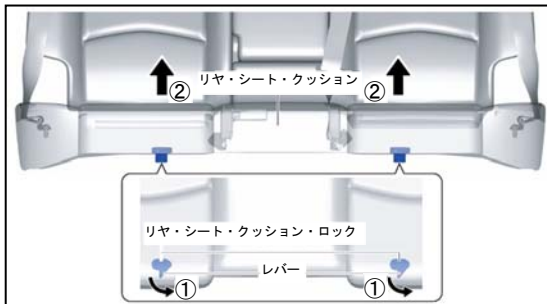
テスターの測定レンジは、DC750V 以上を使用してください。



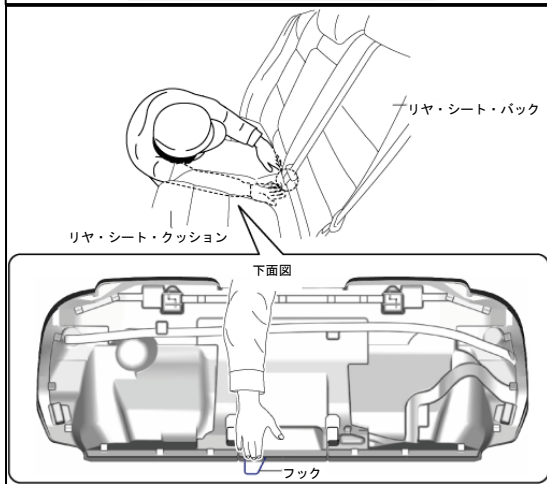
(9) リヤ・スカッフ・プレートを取外す。

(10) リヤ・シート・クッションを取外す。

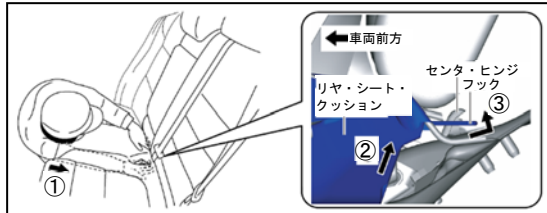
1) 図に示す矢印 ①の方向にリヤ・シート・クッション・ロックのレバーを動かした状態で、矢印 ②の方向にリヤ・シート・クッションを持ち上げ、リヤ・シート・クッション・ロックとリヤ・シート・クッションの嵌合を外す。



2) 図に示す姿勢で、リヤ・シート・クッションの下側からフックを触れる位置まで右手を差込み、左手をリヤ・シート・クッションとリヤ・シート・バックの間に差込む。



3) 図に示す矢印①の方向にリヤ・シート・クッションを押しながら、矢印②の方向にフックを持ち上げ、矢印③の方向にフックを動かしてセンタ・ヒンジからフックを外す。

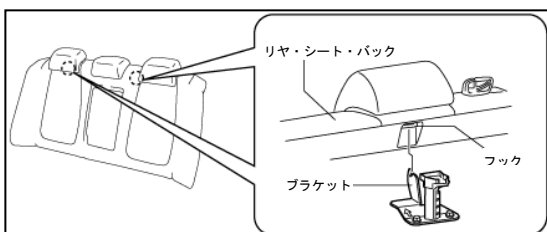


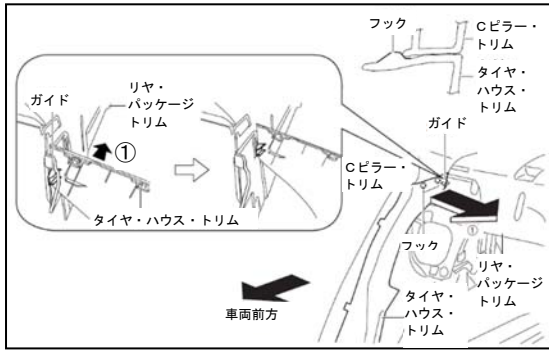
(11) リヤ・シート・バックを取外す。

1) 図に示すボルトを取外す。



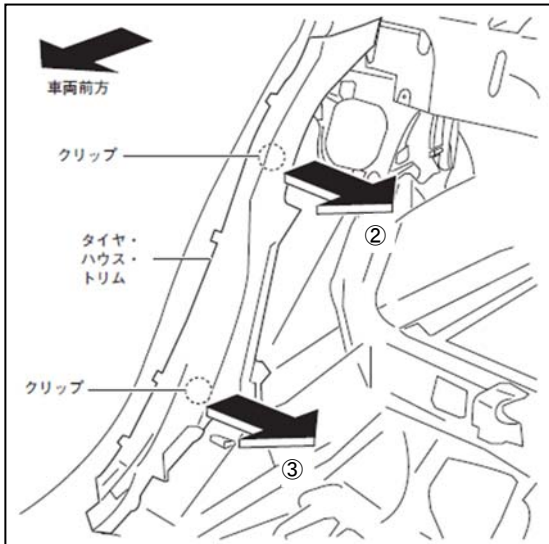
2) リヤ・シート・バックを上を持ち上げ、ブラケットからフックを取外す。



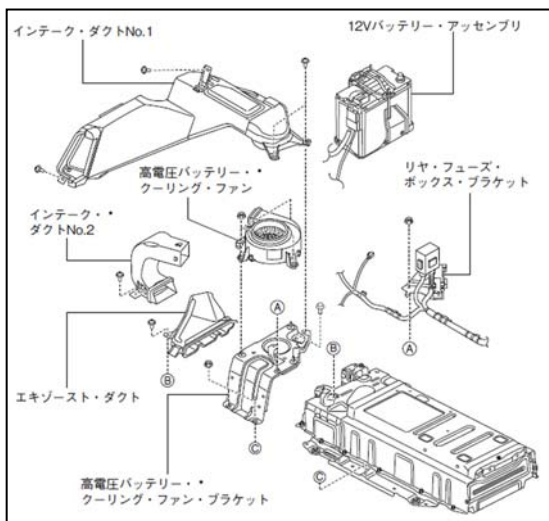


(12) タイヤ・ハウス・トリムを取外す。

- 1) シーミング・ウェルトをめくる。
- 2) タイヤ・ハウス・トリムを図に示す矢印①の方向に動かし、Cピラー・トリムからフックを、リヤ・パッケージ・トリムからガイドを取外す。

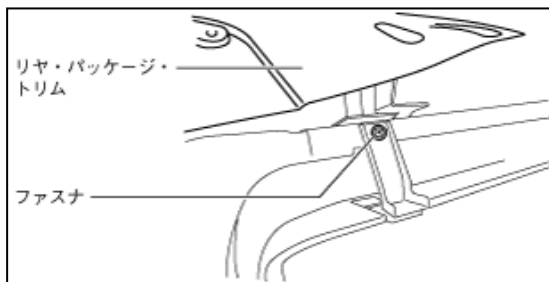


- 3) タイヤ・ハウス・トリムを図に示す矢印②、③の順に動かす。



(13) 以下の部品を取外す。

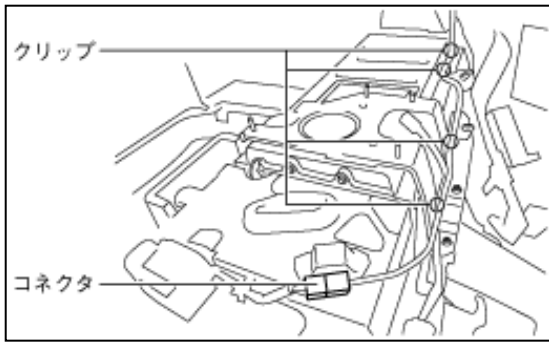
- 1) インテーク・ダクト No.1
- 2) 12V バッテリー・アッセンブリ
- 3) インテーク・ダクト No.2
- 4) リヤ・フューズ・ボックス・ブラケット
- 5) HV バッテリー・クーリング・ファン
- 6) エキゾースト・ダクト
- 7) HV バッテリー・クーリング・ファン・ブラケット



- インテーク・ダクト No.1 取外し時の留意点  
リヤ・パッケージ・トリムのファスナを取外し、リヤ・パッケージ・トリムをめくってインテーク・ダクト No.1 のファスナを取外す。

(14) 12V バッテリー・トレイを取外す。

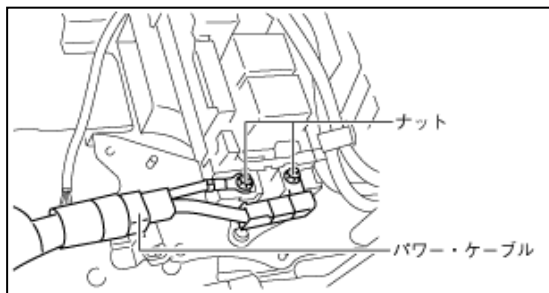
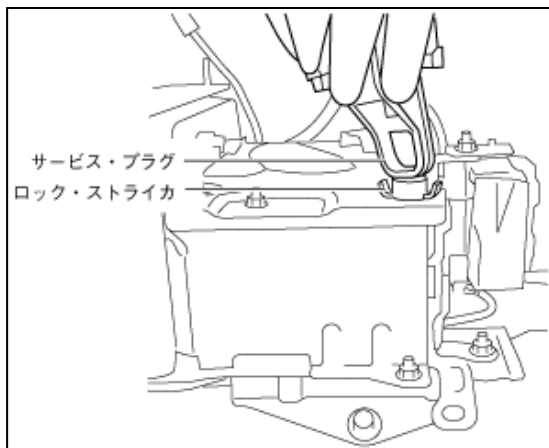
(15) 絶縁手袋を着用し、HV バッテリー・カバーを取外す。



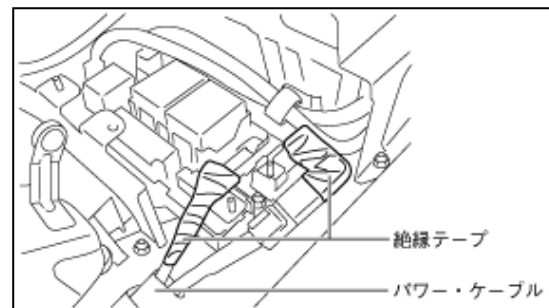
1) 図に示すハーネス・クリップおよびコネクタを切離し、ハーネスを作業の妨げにならない箇所によける。

2) サービス・プラグを使用して、ロック・ストライカを取外す。

<b>参考</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サービス・プラグのレバー先端にあります突起を、ロック・ストライカ上部の穴に差込んで回してください。</li> </ul>
-----------	---




(16) 絶縁手袋を着用し、図に示すナットを取外して、パワー・ケーブルを切離す。



(17) 絶縁手袋を着用し、パワー・ケーブルに絶縁テープを巻いて絶縁する。

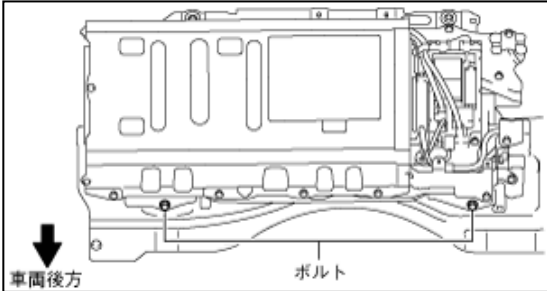
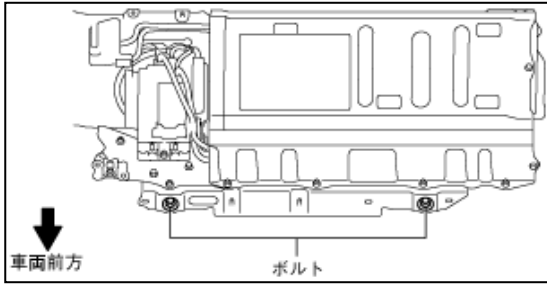
(18) 絶縁手袋を着用し、以下の手順で HV バッテリーを取外す。

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HV バッテリーを 45°以上傾けないよう注意してください。</li> </ul>
---	--

<b>参考</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HV バッテリーは 2 人で運搬してください。</li> </ul>
-----------	---

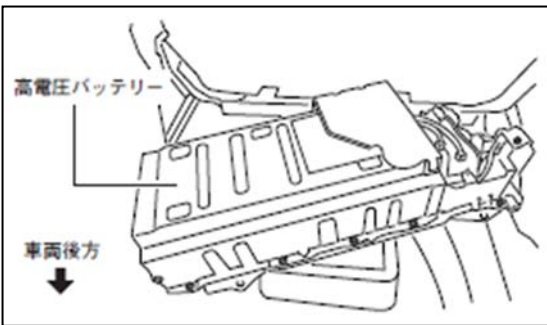
1)HV バッテリー取外しのため、作業者 1 人を室内、もう 1 人を車両後方に配置する。

2)HV バッテリー取付けボルトを取外す。



3)以下の手順で HV バッテリーを車両後方に引出す。

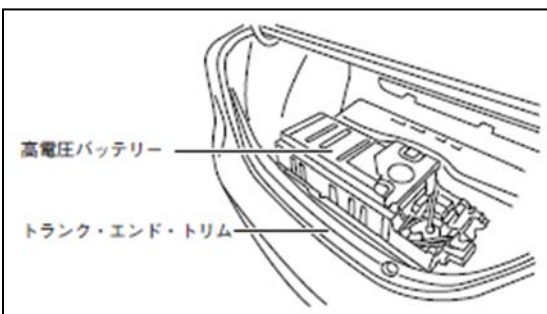
①HV バッテリーLH 側を引出す。



②室内の作業者は車両後方へ移動する。

③HV バッテリーRH 側を引出す。

④HV バッテリーをトランク・エンド・トリム付近まで引出す。



⑤HV バッテリーをトランク・エンド・トリムに載せ、持ち方を変えるなどして HV バッテリーをしっかりと保持した後、運び出す。